

北九州の企業が培った堆肥化技術をマレーシアに展開！ — マレーシアの技術者ら5名が北九州エコタウンで学ぶ —

- 北九州市の中小企業（楽しい株式会社、松尾康志代表取締役）は2017年6月、JICA（独立行政法人 国際協力機構）の中小企業海外展開支援事業～案件化調査～）に採択され、マレーシアで「食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの構築に係る案件化調査」を実施しています。調査対象地は冷涼な気候を活かした野菜や果物の栽培が盛んな地域である一方、野菜残渣は廃棄物中の水分が多いため焼却処理ができず遠方の廃棄物処分場までごみを運ばざるを得ない状況にあります。
- 本調査は、同社がこれまで北九州エコタウンで培った技術がマレーシアで活用できることを目的としています。具体的には、生ごみ堆肥化装置によって食品系廃棄物から良質な堆肥を生成し、その出来上がった堆肥を利用した有機野菜の生産・販売を行うことで、食品リサイクルループの構築を目指すとともに食品系廃棄物の減量やリサイクルにつなげるものです。
- 上記の案件化調査の活動の一環として、2018年7月1日（日）～7月13日（金）にかけて、マレーシアの固形廃棄物管理公社（SWCorp）の技術者ら5名を楽しい株式会社に招聘し、堆肥化リサイクルセンターにおいて野菜残渣や食品系廃棄物の堆肥化技術とリサイクルループの研修を実施するとともに、北九州市内の野菜残渣や食品系廃棄物の排出場所と収集の現場や堆肥を利用する水田の視察などを行う予定です。

1. 本邦受入活動概要

対 象 マレーシア固形廃棄物管理公社（SWCorp）の技術者
 目 的 野菜残渣や食品系廃棄物の堆肥化技術と
 リサイクルループの習得、理解促進を図る
 期 間 2018年7月1日（日）～7月13日（金）
 研修員 5名



北九州エコタウンリサイクルセンターの様子

2. 取材可能日

日時	場所	内容
7月2日（月）13:30-15:00	楽しい株式会社 （北九州市若松区向洋町 10-1）	・食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの講義
7月3日（火）14:00-15:30	楽しい株式会社 （北九州市若松区向洋町 10-1）	・食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの講義
7月5日（木）12:30-14:30	弘川農園 （下関市大字内日上 2091）	・堆肥利用先の農地（水田）

【本件に関するお問い合わせ先】

JICA 九州 市民参加協力課（担当：藤井）

Tel：093-671-8204 E-mail：Fujii.Keitaro2@jica.go.jp

※【JICA 中小企業海外展開支援事業】 中小企業の海外展開の促進とともに地域経済の活性化を支援する JICA 事業。

http://www.jica.go.jp/sme_support/